Kamagaya International Friendship Association

K·I·F·A Plaza

鎌ケ谷市国際交流協会広報誌

第68号

2010年（平成22年）7月7日
発行：鎌ケ谷市国際交流協会
〒273-0195 鎌ケ谷市新鎌ケ谷2-6-1
TEL 047-445-1141（内550）
FAX 047-441-9400
http://www.kifa.gr.jp

鎌ケ谷市国際交流協会（KIFA）2010年度総会

新たな体制で組織改革の年に

茂野新会長・新執行部スタート

新たなＫＩＦＡ構築をめざし、茂野昭新会長体制が発足――５月23日に開かれた2010年度総会において、２期４年の任期を務めた酒井哲郎会長から茂野昭さん（法人会員）に会長職がバトンタッチされました。副会長には岡本靖子さん、高橋修司さんが、会計には酒井前会長、長南勇さんが就任しました。

ＫＩＦＡ創設23年、成田スカイアクセスの７月17日開通など、鎌ケ谷市における外国人とのかかわりも、新時代に対応するチェンジが求められています。ＫＩＦＡの役割、組織、事業の見直しなど今日的課題も山積しています。新発足した執行部は茂野新会長のもと、これまでＫＩＦＡの運営責任を担ってきた経験者を集めた「強力体制」で、とくに組織改革の推進が期待されています。

写真は右から茂野会長、岡本、高橋の両副会長、酒井、長南の両会計の新執行部

「時代に合った規約を！」

茂野昭新会長

茂野昭会長あいさつ

総会で各議案を一括審議、その結果いずれも承認、可決されたあと、いったん休憩に入り、その間に臨時理事会が開催されました。任期満了にともなう新役員の改選で新会長に選出された茂野昭さんは、総会で会員、部会員に次のようにあいさつをされました。

「ここにおられる皆さんの一人ひとりがボランティアとして、鎌ケ谷市の国際交流活動を盛り上げ、これからもこの活動を推進される協力者であると信じています。

私は執行部をはじめ強力なスタッフと一緒になって、また行政からいろいろなご指導をいただきながら、一生懸命頑張ります。これからの時代に合った規約を作り、時代に合った活動を志向していきたいと思っております。皆さんのご指導とご支援のほど、よろしくお願いします」

2010年度鎌ケ谷市国際交流協会役員名簿

役　職	氏　名	所　属　団　体
会　長（理事）	茂野　　昭	法人会員（茂野製麺㈱）
副会長（理事）	岡本　靖子	個人会員
副会長（理事）	高橋　修司（前会計）	鎌ケ谷市商工会
会　計（理事）	酒井　哲郎（前会長）	個人会員
会　計（理事）	長南　　勇（留任）	個人会員
理　事	御代川泰久	鎌ケ谷市体育協会
理　事	平田真貴子	鎌ケ谷市スカウト連絡協議会
理　事	高橋富士美	鎌ケ谷市子ども会育成会連絡協議会
理　事	久野　義春	鎌ケ谷市芸術文化協会
理　事	中野　　洪	鎌ケ谷市自治会連合協議会
理　事	佐藤　宗之	鎌ケ谷青年会議所
理　事	柏崎　育造	鎌ケ谷ロータリークラブ
理　事	藤田　次男	鎌ケ谷ライオンズクラブ
理　事	太田　侑子	鎌ケ谷国際文化交流会
理　事	勝田　眞澄	千葉県立鎌ケ谷高等学校長
理　事	小玉　秀史	千葉県立鎌ケ谷西高等学校長
理　事	熊井　健二	鎌ケ谷市小中学校校長会（第四中校長）
理　事	渋谷　定重	鎌ケ谷市副市長
理　事	皆川　征夫	鎌ヶ谷市教育委員会　委員長
理　事	川西　八郎	鎌ケ谷市教育委員会　教育長
理　事	北村　眞一	鎌ケ谷市役所　総務企画部長
監　事	私市冨士弥	法人会員（私市醸造㈱）
監　事	栗田　朝治	法人会員（ニッポー㈱）
顧　問	田澤進二郎	元ＫＩＦＡ会長
交流部会長	石関　博康	個人会員
研修部会長	飯田　文夫	個人会員
広報委員長	関矢　忠良	個人会員
青少年委員長	桶本　　栄	個人会員

事務局長　宗川　洋一　市企画財政課長
担当職員　大田　彩子　市企画財政課／事務局員・寺坂敬子・三塚敏子

成田スカイアクセス開通で活発化する鎌ケ谷の「草の根」国際交流

清水聖士市長
あいさつ(抜粋)

ＫＩＦＡの皆さんには、日頃、鎌ケ谷市の草の根国際交流を行っていただいていることに対し、市を代表して心より感謝申し上げます。通訳ボランティアの派遣、日本語教室の開催など、さまざまな面で市内在住外国人の方々を支えてくださっています。

国際交流協会の場なので、ここで私の国際交流の経験談をさせていただきます。私は90年代に米国・ニューオリンズの総領事館に領事として勤めていました。ある日突然、市民団体から「サダコ」の折鶴イベントをやるからと案内がありました。今でこそ「サダコ」は若くして広島で被爆し、亡くなった少女のことと分かりますが、当時はピンときませんでした。

10人くらいの米国人が折鶴を折り、そのうち聞き取りにくい英語の詩を朗読し始めました。その朗読の中に「Atomic　Bomb」という単語があったので、おそらく原爆の話しだろうと推測しました。スピーチを求められたとき、広島出身であることを話すと大いに盛り上がり、大歓迎されました。米国の地方都市で、こんなにたくさんの人たちが「サダコ」に、そして日本に関心を持ち、日米の友好関係をよくしようという草の根運動があることを知り感激しました。

今年は７月に成田スカイアクセスが開通し、外国からのお客さんが来るものと思われます。たとえば市内の病院を利用してもらう「メディカル・ツーリズム」(医療を兼ねた旅行)構想などを含め、この機会を活用して鎌ケ谷市を一層発展させようと考えているところです。

ＫＩＦＡにはこれからもお力をいただく場面が多々あると思います。ますます活発に草の根国際交流を推進されることを心より祈念申し上げます。

「未来志向」青少年委員会新設！　組織再編のさきがけか

鎌ケ谷市国際交流協会（ＫＩＦＡ）は５月23日（日）午前10時から、鎌ケ谷市総合福祉保健センターの大会議室で、2010年度総会を開催しました。桶本栄副会長の開会の辞に続いて、２期４年の任期を終える酒井哲郎会長が総括のあいさつに立ちました。

「2009年度の事業計画実施状況は、おおむねよかったと思います。ただ日本語ボランティア養成講座は応募者が集まらず中止にしたこと、また夏のニュージーランドへの青少年ロングステイが新型インフルエンザの影響で中止に至ったことは残念でした。

それに懸案だった『日本語教室部会』については、関係各位にご心配とご迷惑をおかけしましたこと、申し訳ありませんでした。一部部会員の組織を逸脱する行動はＫＩＦＡに大きな困難を生じさせました。事態収拾のため努力を重ねてきましたが溝は埋まらず、先の理事会で承認をいただき、『日本語教室部会』の廃止に至ったわけであります。2010年度からは従前の研修部会に所属させ、９月をメドに『日本語講座』の教室を再開するべく、現在、鋭意努力をしている次第です。

また新しく青少年委員会を立ち上げました。若手ボランティアの活躍を期待し、ＫＩＦＡに新風を入れるのが狙いです。これを軌道に乗せるのが、本年の目標だといえましょう。最後に、２期４年を全うできましたこと、皆さまのご支援とご協力に感謝の御礼を申し上げます」

◎新役員、法人・団体会員を紹介◎

つぎに来賓の清水聖士市長（上記参照）、土屋裕彦市議会副議長の祝辞のあいさつを受けました。総会はＫＩＦＡ事務局長で市の企画財政課長・宗川洋一さんの司会により、顧問の田澤進二郎さんを議長に選出したあと、議案審議に入りました。

１号議案「2009年度事業報告」について、各部会事業、執行部担当のボランティア事業、派遣事業などの説明。つづいて２号議案「2009年度収入支出決算並びに特別会計収入支出決算」および「監査報告」が会計、監査から報告。１，２号議案ともに一括審議がなされたあと、拍手で承認、可決されました。

３号議案は「規約改正」（①研修部会所属の日本語講座②青少年委員会の新設）について、平田真裕美副会長から提案説明があり、討議の結果、承認されました。さらに４号議案「2010年度事業計画(案)」と、それに伴う５号議案「2010年度収入支出予算(案)並びに特別会計収入支出予算(案)」について、各部会、執行部から説明が行われ、一括審議の結果、これも承認、可決されました。

今期は役員改選の年に当たり、1面の表のように会長、副会長、会計が選出され、茂野昭会長をトップに新執行部体制がスタートしました。また常設の部会長、委員長も承認され、議長より報告されました。

最後に、新役員、法人・団体会員の紹介と、新会長就任のあいさつ（1面参照）があり、平田さんの閉会の辞で総会は終了しました。

※2010総会Ｑ＆Ａ（５･23の質疑応答）※

Ｑ１：規約では、運営委員会に理事の出席が明記されているが、実際はどんな状況か？
Ａ１：特に理事の出席を要請していない。
Ｑ２：執行部の選出方法を明らかにしてほしい。
Ａ２：選考委員会で選出された委員長の専権事項である。
Ｑ３：KIFA基金が230万円ほどプールされているが、これを積極的に事業などに使う用意はあるか？
Ａ３：現時点では、そういう考えはない。
Ｑ４：日本語教室騒動では一般会員には情報が一方的だった。執行部がもっと真相を知らせてほしかった。
Ａ４：今後の教訓にしたい。

《2010年度KIFA運営委員会メンバー》

「協会の運営に関する事項を審議する」（規約12条３項）と定められている運営委員会は、通常月１回開きます。

	役　職	氏　名		役　職	氏　名
執行部	会　長	茂野　昭	交流部会	部会長	石関　博康
	副会長	岡本　靖子		副部会長	信夫　稔
	〃	高橋　修司		〃	野村　千賀
	会　計	酒井　哲郎	研修部会	部会長	飯田　文夫
	〃	長南　勇		副部会長	小河原大蔵
広報委員会	委員長	関矢　忠良	青少年委員会	委員長	桶本　栄
	副委員長	林　幸治		副委員長	花岡　聡美
	〃	平田真裕美		〃	林　紅

４年ぶり執行部入りの岡本靖子副会長と新しい体制の交流部会と研修部会の両部会長に、新年度スタートにあたり、「2010年度はこうしたい」を語ってもらいました。

2010年度「私はKIFAをこうしたい」

◎岡本靖子・副会長

KIFA内で露見した深刻な対立は、お互いのコミュニケーション不足が原因だったかと思います。このことで会員減が生じてはいけません。いつも相手から学ぼうという姿勢が必要です。

新会長を補佐し、現行の部会や事業の問題点を検証し、新しい時代に対応できるよう組織改革をする必要性もあるでしょう。そのためには、部会レベル、運営委員会レベルで徹底的に議論する機会をつくりたいですね。

今年は執行部が率先して、会員集めに努力します。とくに法人・団体にKIFAの事業に理解を求め、協力を得たいと思います。一生懸命、楽しくをモットーに頑張りますので、よろしくお願いします。

◎石関博康・交流部会長

交流部会は国際文化交流事業としてバスツアー、外国家庭料理講習、文化交流をおこなっていきます。

バスツアーは参加者が多い人気のイベントで、今年は箱根方面を計画しています（９月26日）。観光と買物を楽しみます。バスの中では自己紹介やゲームを通して日本人と外国人が友だちになってもらう機会をつくります。

外国家庭料理講習は、実際に調理し、食べることで、その国の料理の歴史と文化を知り、その国の理解を深め、人々との親善を深めるものです。

文化交流は、昨年もおこなった交流カフェを定期的に開催します。交流部会員と外国人が集まる場を設け、気楽に懇談します。ほかに公演会、コンサートなどのイベントも企画していきます。

◎飯田文夫・研修部会長

言葉（言語）とはコミュニケーションのメディア。したがって、言葉を理解することなしに、相手（国）の人となり、社会、文化、歴史などを知ることはできません。

研修部会では、このような理解にもとづき、「外国語講座」を中心に、「英会話サロン」（今年は3回開催予定）、講演会などを開催、市民の皆さんに外国をより深く、より広く理解していただく場の提供を目的とするものです。

また、今秋には「日本語講座」を新設し、既存の４講座に加え、在住外国人に日本の生活に役立つ日本語をお教えする予定です。会員各位の一層のご理解とご支援をたまわりまして、真に意義ある活動を展開していきたいと思います。

2010年度　KIFA法人会員・団体会員の紹介

〈法人会員〉	〈団体会員〉
東葛食品㈱	鎌ケ谷市商工会
茂野製麺㈱	鎌ケ谷ライオンズクラブ
親和設備㈱	鎌ケ谷青年会議所
㈲岡田産業	鎌ケ谷市自治会連合協議会
皆川不動産㈲	鎌ケ谷市庭園業組合
㈱永井建設	千葉県立鎌ケ谷高等学校
那須設計工務㈱	千葉県立鎌ケ谷西高等学校
鎌ケ谷造園土木㈱	鎌ケ谷市小中学校長会
学校法人　一色学園	鎌ケ谷市体育協会
㈱千葉銀行鎌ケ谷支店	鎌ケ谷市スカウト連絡協議会
㈱鎌ケ谷梨ワインブランデー	鎌ケ谷ロータリークラブ
㈱アメリカンランゲージスクール鎌ケ谷校	
私市醸造㈱	
ニッポー㈱	

KIFA2010年度事業計画

５月23日のＫＩＦＡ総会において、承認・可決された2010年度の主な事業計画は以下の通りです。詳細が決まりましたら会員の皆さまには、開催日、募集要綱など文書にてお知らせします。広報誌「KIFA Plaza」とホームページでも掲載します。また、市民には市の広報紙を通じ告知します。積極的なご参加を要望します。

●交流事業
- KIFAパーティ　・バスツアー
- 親子交流会　・外国家庭料理講習会
- 世界を知る文化交流

●研修・講座事業
- 外国語講座（英語A、英語B、中国語、ハングル）
- 在住外国人への「日本語教室」
- 子ども英会話教室
- 英会話サロン

●海外派遣、受け入れ事業
- 青少年ロングステイ派遣（ワカタネ）
- 交換留学への協力（鎌ケ谷高校とトライデント高校）
- ホームステイ、ホームビジットの受け入れ

●広報事業
- 「KIFA Plaza」発行（年４回）
- ホームページの更新
- イベント事業、報告会等への取材・編集

●派遣事業
- 市内諸団体、教育機関等へのボランティア派遣（通訳ボランティア活動、外国人ボランティア講師の派遣、日本語講師の学校派遣）

●国際交流に関する諸団体、近隣市との連携・交流
- 東葛地区国際交流協会連絡協議会及び他市との協力
- 鎌ケ谷市姉妹都市委員会事業に協力
- 鎌ケ谷市中学生ワカタネ派遣事業に協力
- 鎌ケ谷市多文化共生推進事業に協力
- 鎌ケ谷市男女共同参画計画策定事業に協力

親子交流会（2008年）

「スマイリーキッズ(子ども英会話)」
「青少年ロングステイ派遣」……

青少年委員会に新しい期待

活発な若手ボランティアのアイデアとイベントで活性化！

ＫＩＦＡでは、若手のボランティアが少なく、同世代のボランティアと活発に意見交換をする機会も、非常に少ない現状がありました。

今後のボランティア育成や新しい事業展開を考えたとき、若手のボランティアが部会の垣根をはずして、同年代の人たちと活発に意見を交わす機会と場を設ける必要性がある。ここから、青少年委員会が生まれました。

青少年委員会により、若い世代や子育て世代が、楽しく積極的にボランティア活動をすることで、さらに若手ボランティアが増え、定着率もよくなる。また、新しいアイデアを出す機会が増えることで、今後の事業展開も発展していくのではないかと、期待できます。

今年度は、既存の事業である「青少年ロングステイ派遣」(ニュージーランド、ワカタネへの留学とホームステイ）と「スマイリーキッズ」(子ども英会話）を柱に、子育て世代や青少年向けにイベント企画や異文化理解など、交流の機会の提供をおこなう予定です。

すでに、「スマイリーキッズ」は開講し、今年度は34人の児童でスタート。「青少年ロングステイ派遣」も７月28日～８月24日の約４週間で実施の予定です。

ロングステイ報告会（2008年）

現在、青少年委員会は、学齢期の子どもがいる人、またその世代以下を中心に構成されています。さらに、この事業に関心のある新しい戦力が加わることで、ＫＩＦＡの新しい可能性が生まれることを期待しましょう。

♠「ぜひ一緒に楽しく活動を」

桶本栄青少年委員長

今回、新しく立ち上げられました、青少年委員会の委員長を務めることになりました。若い世代や子育て世代が、活発に意見を交換しながら、楽しくボランティア活動ができればいいと思います。楽しいところに、自然と人も集まってくるのではないでしょうか。

どんどん若い世代のボランティアが増えて、よりよい事業展開がおこなえるような委員会を目指しています。この青少年委員会に関心を持たれた方、楽しそうだなと思われた方、ぜひ一緒に活動しましょう。

「日本語講座」

9月開設に向けて準備を進めています

外国人受講生の特別学習会風景

2010年度総会で酒井前会長から説明がありましたが、従来の「日本語教室部会」が本年３月末をもって廃止されました。それに伴い、以前のように研修部会所管の「日本語講座」を今秋９月に開設することになりました。

そのため現在、研修部会のボランティアを中心にその準備を鋭意進めています。「日本語講座」は鎌ケ谷市国際交流協会（ＫＩＦＡ）が、市内在住の外国人に日本語学習の機会を提供するものです。

「学習者は、学習意欲に燃え、確たる目的意識をもった在住外国人のみを対象にします。この講座で身に付けられた日本語力が、職場やいろんな仕事先で高く評価され、またご本人の日常生活がより豊かなものになるよう願っております

私たちはボランティアとして、この事業に関わるものとして、受講された外国人から“役に立った（立っている）”といわれることが大きな喜びです。そういわれるよう頑張ります」(飯田文夫・研修部会長)

ＫＩＦＡ日本語講座の受講を希望する外国人の皆さん、新募集要項は、近日発表します。ぜひ応募してください。会員の皆さま方のご理解とご支援もお願いします。

《日本語講座ボランティア募集》

鎌ケ谷市国際交流協会(ＫＩＦＡ)では、在留外国人のための日本語講座開設の準備をすすめております。この講座にボランティア（当協会主催の日本語養成講座受講者、または同等、それ以上の者）として、協力してくださる方を求めています。

日本語講座／９月８日より毎週水曜日19時～21時
場　　所／鎌ケ谷市中央公民館
募 集 人 数／若干名
締 め 切 り／８月20日
〔**問い合わせ**〕鎌ケ谷市国際交流協会事務局
平日の９時～16時受付　℡047-445-1141(内550)

2010年度「語学研修講座」開講式

「私も心を若くして生徒になり、英語を学びたい」――この日の午前中に開かれた総会でＫＩＦＡ会長に就任された茂野昭さん。研修部会の主要事業「語学研修講座開講式」のあいさつが初仕事となりました。

５月23日（日）の午後、総合福祉保健センター６階の大会議室で開かれた「開講式」で、飯田文夫部会長が「昨年見かけた方も何人かいます。また新しいお顔も大勢います。語学は継続することが大事」と語学学習の心得を説き、また、身に付いたものにする秘訣として「友だちと話すことで、さらに上達するでしょう」と「友だち語学」のお勧めも披露しました。この後、第１回授業として講座ごとにオリエンテーリングが行われました。

外国語講座講師紹介「私のふるさと、そして日本」

◎ハングル　金　英美（Kim Youngmi）さん

私が生まれて育ったのはソウルの下町「往十理」というところです。いまは地域開発計画が進み、街は大きく変貌しています。街は変わっても変わらないものがあります。それは食べ物です。代表的な場所はホルモン焼き専門店街です。庶民的な感じで、ソウル市民にも知られている名所です。

韓流ドラマが日本で人気を集めていたころ、日本滞在５年目に入って私は、日本のドラマにはまっていました。箸作りの職人、和菓子屋の話など、伝統を守り続けようとする物語の中に、日本の力を感じました。

＜金曜日・10時～11時30分　南部公民館＞

◎英語Ａ　Kristen　Cother（クリスティン・コサー）さん

私の故郷は、ミシシッピ北東部の丘陵地帯にあるトゥーペロです。近くにナチェズ街道があり、ここから美しい北東ミシシッピの風景を見ることができます。トゥーペロはエルヴィス・プレスリーの生誕の地で有名です。

州立大学を卒業してテネシー州・メンフィスの放送局で１年以上働いた後、2009年の夏、ミシシッピーに戻り、英語の教師の免許をとりました。日本で仕事をするのが目標でした。ずーっと日本の文化や生活に興味を持っていたからです。日本に着いて、見るもの聞くものがおもしろく冒険しているみたいです。

＜水曜日・13時～14時30分　中央公民館＞

◎中国語　胡　丁毅（Fu Dingyi）さん

私のふるさとは、中国・北京です。故宮博物院の近くで少女時代を送りました。胡同（フートン）といわれる路地で縄とびをしたり、車輪まわしをしたりして遊んでいました。大学の専攻は繊維工学で、日中合弁会社に就職し、次第に日本に興味がでてきました。それで印象のいい日本を選んで22年前に来ました。

私は日本語を特別に学習したわけではありません。日本語を日常の会話で使わざるをえず、自然に身についたと思います。中国語も使わざるをえない状況に自分を置いて、中国文を読んだり、ヒアリングをすることが大切です。

＜火曜日・10時～11時30分　くぬぎ山コミュニティーセンター＞

◎英語Ｂ　Ian Jelley（イアン・ジェリー）さん

私の故郷はダービーです。ダービーはイギリスの真ん中にあり人口25万人くらいの小さな町です。建築遺産もあり、緑が多いとても景色のよい所です。

私は高校を卒業するとリバプール国立大学に進学しました。リバプール大学は8人のノーベル賞受賞者を輩出しました。リバプール市はビートルズを生んだ都市としても、世界中に名の知れた港町です。

大学卒業のとき、日本の英語教師の募集に応募し、４年前に日本へやってきました。日本食も好きになり、日本各地を旅行したりして楽しんでいます。

＜木曜日・19時～20時30分　北中沢コミュニティーセンター＞

◎受講生総数は79人です――――――

今年度の各講座の受講生は、英語Ａ27人（22）、英語Ｂ16人（14）、中国語13人（11）、ハングル23人（20）となっています。（　）内は開講式に出られた受講生数です。開講式には４人の講師、執行部、研修部ボランティア会員を含め93人が参加しました。

「KIFA子ども英会話教室」2010スタート

青少年委員会の事業に移行した「ＫＩＦＡ子ども英会話教室（スマイリーキッズ）」2010年度の始業式が５月23日（日）に、まなびぃプラザで開かれました。本年度は小学１，２年クラスがシナピ先生、３,４年生、５,６年クラスがノア先生の担当で、それぞれ50分授業で行われます。１,２年クラスは13人、３,４年は10人、５,６年は11人です。

♥シナピ先生の授業は楽しい♥

１時間目はシナピ先生の授業からスタートです。１,２年生が中心です。先生はたくさんの小道具を用意しています。世界地図を出して､｢日本はどこ？｣｢ニュージーランドは？｣。次に鳥の写真を見せながら「鳥の名前はキューイ」だと教えます。

飛べない鳥だと身ぶりでやって見せて、次に果物の「キューイ」の写真を出して｢これはなに？｣など、子どもたちの関心を引き出します。

シナピ・タエオア（Sinapi Taeao）です。ニュージーランドの首都ウェリントンから来ました。多くの丘に囲まれ、海にも近く風光明媚なところです。趣味は､ネットボール､タッチラグビー、映画や音楽鑑賞、ニュージーランドやサモアの伝統的な音楽を歌ったり、踊ったりすることです。鎌ケ谷市に来て、まもなく３年を迎えようとしています。とても親しみやすいところで、楽しく過ごしています。教えること、特に子どもたちに教えることを熱望しておりましたので、スマイリーキッズで教える機会を得られたことを喜んでいます。

♥ノア先生は大きいです♥

２,３時間目はノア先生です。とても大きな先生です。ヒゲを生やしています。でもやさしい声です。両腕を大きく使って、一人ずつ自己紹介と誕生日を聞いていきます。中にノア先生と同じ７月24日の子がいて「ワォ!!」と歓声が上りました。

子どもたちも、元気に大きな声で答える子と、自信なさそうに小さな声で、答えを詰まらせる子もいます。でもみんな楽しそうです。

ノア・ウイルソン（Noah Wilson）です。日本で教えはじめて2年目になります。アメリカのペンシルバニア州のフィラデルフィアで生まれ、高校時代をバージニア州、大学時代をノースカロライナ州で過ごし、その後8年間はコロラド州にいました。コロラドでは、ユース・リーグのフットボールの指導にあたっておりました。英語、スペイン語、ポルトガル語と日本語を少しだけ話せます。昨年、ＫＩＦＡで教える機会を得て、楽しく授業を行うことができました。今年も引き続きクラスを教えることになり、楽しみにしています。

◎茂野会長も出席、保護者説明会

別室では保護者説明会が開かれました。茂野昭新会長のあいさつに続き、桶本青少年委員長が「私も以前は皆さんと同じ受講生の保護者でした。ぜひ、できる範囲で活動に関わり、ボランティアと一緒にスマイリーキッズを盛り上げていただきたい」と呼びかけました。

保護者への注意事項の説明に加え、ハロウィン、クリスマス、ＫＩＦＡパーティのお手伝いのお願いに、昨年受講された保護者からは、「ＫＩＦＡパーティのお手伝いをしましたが、子どもと一緒に参加してとても楽しかった。むしろ保護者の私たちのほうが、楽しんでいたかも」という声もあがりました。今年も皆さん快くお手伝いを引きうけて下さいました。

2010夏：ワカタネ・青少年ロングステイ
説明会に学生６人、保護者８人が参加

ＫＩＦＡ主催､鎌ケ谷市教育委員会後援による､ニュージーランドの姉妹都市ワカタネで一般家庭にホームステイをしながら、高校に通い、異なる生活・文化を体験する2010年度の「青少年ロングステイ派遣説明会」が５月23日（日）まなびぃプラザで行われ、高校生５人、大学生1人、保護者８人が参加しました。

この日の午前、新会長に選出された茂野昭さんから、「若者が姉妹都市・ワカタネでの留学体験をし、将来に生かしてほしいと思う」とのあいさつに続き、ロングステイの内容についての説明が行われました。

2008年度の派遣体験者・山田ひかるさんが、「すばらしい体験でした。ホストファミリーもワカタネの人も親切で、行って良かったねと、今でも家族で話をしています」と話し、続いて参加者の質問に答えてくれました。

お手伝いを義務付けられるの？　一人でゆっくりしたいときは、どうしたらよいの？　夏休み中の宿題はどうしたのですか？　英語にあまり自信がなくても大丈夫ですか？――など、さまざまな質問がありました。

派遣スケジュールは７月28日(水)成田空港出発、８月24日(火)成田着の28日間。派遣決定者には出発までに、何度かのオリエンテーションがあります。

帰国後、８月29日（日）に公開の体験発表会が予定されています。

Reader's Column

25年ぶりスペイン仲間との再会
「ビバ! エスパーニャ」

信夫　稔

ドン・キホーテとサンチョ・パンサの前で

夕食会のレストランは昔、皆で通い詰めたバルでした――旅の主目的であったスペイン仲間との再会パーティは、旅の終わりの前日にセットされていました。

スペイン仲間、私にとって生涯、忘れ難い人たちです。私たち家族４人はマドリッド生活を２回、計８年の月日を英語とスペイン語の渦の中で過ごしました。その苦しかった体験が今回のスペイン再訪の実現に拍車をかけたのではないかと思う。とくに１回目の駐在時代は、国立電信電話公社への大型コンピュータシステム設置作業と、それに関わる優秀な技術者の確保に追われる毎日でした。採用試験の問題作成や面接等の仕事も加わり、普通の生活を犠牲にする厳しい日々でした。

＊コモエスタ・ドン・キホーテ様

スペイン25年ぶり再訪の旅は２年あまり前、オランダのアムステルダムにいた長男家族と一緒に、マドリッドを中心に訪ねることになり、同行者の輪が広がって、私たち夫婦の他に長男夫婦と娘、次男夫婦と息子を含め親子三代、総員８人によるツアーとなりました。平成19年９月初め、成田からアムステルダムへ。長男家族３人が加わり、親子孫三代でのスペイン再訪の旅が始まりました。

９月半ばの昼前にバラハス国際空港に到着、スペイン時代の仲間たちから情熱的な歓迎を受け、大変嬉しく感動的な再会の旅は動き始めました。↗

滞在ホテルは妻がインターネットで見つけ予約していました。マドリッドの象徴であるプラサ・デ・エスパーニャ（スペイン広場）やプエルタ・デル・ソル（太陽の門）にも近く、しかもマドリッドで最も有名なグランビア通りに直接面した、申し分のないロケーションでした。

ホテルチェックイン後、まずはドン・キホーテ様とサンチョ・パンサ様に再訪の仁義を切るべく、スペイン広場に直行。スパニッシュブルーと呼ばれる青空をファインダーいっぱいに採り入れた記念撮影に成功。

銅像の２人に改めて「ご機嫌如何ですか。コモエスタ・ウステ？」と仁義を切り直し、４日間のマドリッドおよび近郊めぐりの許しと無事故をお願いしました。

２日目と３日目は、妻が手配した運転手付マイクロバスに乗り、キリスト・イスラム・ユダヤ教徒が共存し、繁栄の道を切り開いた古都トレド。緑のオアシス、ロドリーゴの「アランフェース協奏曲」の舞台になったカルロス４世の離宮所在地であるアランフェース市、そして映画「白雪姫」の美しい城として知られる町、「ローマの水道橋」で有名なセゴビアを廻りました。

＊感動のバル・パーティ「また必ず会いましょう」

スペイン仲間と４半世紀ぶりに再会。夕食会の話は尽きることなく盛り上がった――

スペイン仲間と再会の舞台は、１階がバルで地下のレストランでした。私たちが到着したときはすでに４～５人の旧友たちが、乾杯の練習を行っている真っ最中で、赤ワインと鰯の酢漬けをつまみながら全員の到着を待ちます。夜７時からの開始でしたが時間とともに仲間の集りも多くなり、最終的には47人の仲間、それも大半が夫婦連れで来ています。顔の皺や髪の毛には25年という長い時の経過が滲み出ていたのが印象的でした。

しかし仲間は仲間、お互いの名前を呼び合い、美味しいワインとスペイン料理、そして昔話という特別料理にも恵まれた格別な時間の流れを共有し合いました。

夕食会の時間制限は２時間であったが、スペイン人同士も久しぶりに会った仲間も多く、話は尽きるどころか増える一方で、ついに店のオーナーに時間延長をお願いすることになり、店の主人も店員も昔のままで、我々の利用と再会を大いに喜んでくれました。夕食会の最後は店からサービスされた高級シャンパンを片手に、次回の再会を誓って全員で乾杯となりました。

ここで突然、仲間の仕切り役から「信夫、今までの日本人駐在員は別れ際にみな、また来るから、と言い残して帰国するがその後、誰一人として来た人はいない。しかし信夫は約束を果しただけではなく、親子に孫を含めた三代で帰って来た。やろうと思っても、なかなか出来るものではない」と言われたときは、さすがに目頭が熱くなり、滴り落ちるものを感じないではいられませんでした。

滴るものが止まらないうちに、私の元秘書だった女性から「信夫、これは今日集ってくれたあなたの仲間全員の気持よ」と言う素晴らしい言葉とともに、スペインが世界に誇るセラミック人形・ジャドロ一体を、皆の拍手の中で贈られました。私はジャドロを手にしたまま、今回の再会と夕食会に集ってくれた仲間への感謝と、次の再会を祈願する閉めのあいさつとなり、「必ずまた来ます、元気でいる限り必ずまた会えます。今夜の席に改めて感謝と共に、皆さんの健康を心から願って、ビバ！アミーガス、アミーゴス、ビバ！エスパーニャ」の言葉を贈り、全員涙のカーテンで夕食会は閉じられました。

（交流部会員、市内・右京塚在住）

KIFA会員・部会活動ボランティアを募集しています

鎌ケ谷市国際交流協会（ＫＩＦＡ）では日常活動を、下の表にあるように交流、研修、青少年、広報の４部門で行っています。すべてボランティアで企画し運営しています。市当局も、外国人に暮らしやすい鎌ケ谷市へ「多文化共生推進計画」を策定しています。ＫＩＦＡもその政策に賛同し、活動を広めていかなければなりません。今後のＫＩＦＡ活動がより充実していくために、活動に参加をしていただくボランティアを広く募集しています。４部会の主な活動を紹介します。**（下記の表）**

関心と興味のある方は、事務局まで問い合わせ下さい。事務局は市役所の３階にあります。電話445・1141（内線550・平日９:00～16:00）

交流部会

在住の外国人、市民らとの交流イベント、事業を企画運営します。主な事業はバスツアー、外国家庭料理講習会、交流カフェなど文化交流の集い。

活動日時は、毎月第２日曜日の午前中に定例部会。事業の実行は土日が中心で、平日にも買い物や打ち合わせがあることもあります。

研修部会

市民対象の語学講座（英語Ａ、Ｂ、中国語、ハングル）、外国人対象の日本語教室の年間開催。外国人講師と会話を楽しむ「英会話サロン」、講演会など。

活動日時は、毎月１回通常日に定例部会が行われます。年間開催の語学講座、日本語教室は毎週定例で担当者が世話をします。他の事業は原則日曜日に開催しています。

青少年委員会

学齢期の子どもがいる人、その同世代の以下のボランティアで、青少年の事業、子育て世代の事業の企画運営を行います。主な事業は姉妹都市ワカタネへの青少年ロングステイ、交換留学、キッズ英会話、親子交流会です。活動日時は、各事業の計画、実施に合わせて、適宜開催します。

広報委員会

広報誌「KIFA Plaza」（年４回）の発行。各部会が行う事業の取材、撮影、原稿、編集など。また、ホームページの編集、更新を行います。

活動日時は、編集会議は各事業の開催に合わせ、適宜開きます。取材、編集作業は都合のつくメンバーで分担しあいながら進行します。

お知らせ（詳細は事務局に問い合わせ下さい）

◆「親子交流会」で楽しみましょう。

ＫＩＦＡ青少年委員会では、多国語を使った「本の読み聞かせ＆ゲーム」など、親子が一緒になって楽しむ国際交流会を計画しました。会員の皆さまには、開催の詳細を文書でご案内します。

日時：７月24日（土）▽会場：中央公民館　学習室１▽時間：午後２時から▽参加費無料

受付：当日会場に直接おいで下さい。

５歳から小学4年生までの親子で参加して下さい。

◆ＫＩＦＡ恒例のバスツアー

交流部会のバスツアーは９月26日（日）に箱根・小田原方面の周遊を予定しています。市内に在住の外国人家族、市民との交流を図るＫＩＦＡの主イベントです。

募集要領など詳細が決まりましたら、会員には文書でお知らせします。また、８月15日発行の市の広報紙にもご案内を掲載する予定です。

編集後記

2010年度最初の「KIFA Plaza」をお届けします。

広報委員長関矢忠良です。今号は総会報告を中心に、新執行部、新部会長紹介など盛り沢山の内容で８ページ構成になりました。今年度から「外国人への日本語講座」の機能を研修部会に取り込むという、大きな変化がありました。また、青少年委員会が新たにスタートしました。若手のボランティアを中心に、ＫＩＦＡ活動に新風を吹き込んでくれることを期待するものです。一方、４年ぶりに復帰した岡本副会長は、執行部が中心となって会員数の増加を図りたいとの意欲をみせており力強い限りです。

清水聖士市長が総会あいさつで、成田スカイアクセスの開通により、鎌ケ谷市はますます国際交流が活発になり、ＫＩＦＡの役割も増すと述べられました。今年は諸々の懸案に取り組むことになることでしょう。広報委員会としても、積極的にサポートしていきたいと考えています。

各種イベントや地道な活動をすくい上げ、お知らせします。また、一部提言型の記事も順次取り入れていきたいと考えております。

なお、今年度の委員会は私と、新たに副委員長に就いた平田真裕美、引き続き副委員長の林幸治、メンバーとして木下健治、山中航介、前委員長の竹内雄二の６人です。ホームページの管理更新も担当しています。新たなスタッフの参加を歓迎いたします。

（関矢）

問い合わせ先　〒273-0195　鎌ケ谷市新鎌ケ谷2-6-1　鎌ケ谷市国際交流協会事務局　TEL445-1141（内550）　FAX441-9400　メールkifa@apricot. ocn. ne. jp
平日9:00～16:00